

第7回高齢運転者標識の様式に関する検討委員会議事概要

- 1 日時
平成22年7月28日（水）午後3時～午後4時30分
- 2 場所
警察総合庁舎4階警察庁第14会議室
- 3 出席者
 - (1) 委員（五十音順）
浅葉委員、駒場委員、鈴木委員、中谷委員、三好委員
 - (2) 警察庁出席者
入谷交通企画課長、堀交通安全企画官、中村交通企画課課長補佐
- 4 議事概要
 - (1) 警察庁説明
警察庁から、高齢運転者標識のデザインに関する意見募集結果について、資料に沿って説明した。
 - (2) 高齢運転者標識の様式の検討
 - ア 高齢運転者標識のデザインの変更の是非等について
高齢運転者標識のデザインを変更すべきか否か及び仮に変更する場合の新たなデザインについて、主として以下のような意見交換が行われた。
昨年4月のアンケート調査とは異なり、今回の意見募集では、変えた方が良いという意見が圧倒的に多い。70歳以上の方が変えた方が良く感じているのであれば、実際にマークを付ける方の意見を尊重するという意味でもデザインを変更すべきと思う。
支持が多いマーク について、一部のデザイナーから視認性が良くないという意見があるが、私は視認性が悪いとは思わないし、視認性に優れていると言っているデザイナーの意見もあるので、視認性について反対意見があってもそれほど気にする必要はないと思う。
マーク には、単色なので赤い車に貼ると見えづらいという意見が寄せられていた。その点、マーク は複数の色が使われているから良い。
マーク がこれだけ支持を集めていることがすべてだと思う。デザイナーの意見は分かるが、マーク を付けて走るのはあくまで一般の人々であり、最も尊重すべきはドライバーの意見だと思う。
もみじマークも引き続き使えるように経過措置を設けるのであれば、もみじマークを引き続き使用したい人に金銭的な負担や迷惑は掛からないので、デザインを変えても良いのではないかと。

以上の意見交換を踏まえ、高齢運転者標識のデザインの変更の是非等に関する本委員会における検討の結論としては、

- ・ 高齢運転者標識のデザインはマーク に変更すべきであること
 - ・ ただし、もみじマークについても、当分の間は引き続き使用できるという方向で制度改正を行うべきであること
- とされた。

イ マーク のデザインについて

マーク のデザインについて、主として以下のような意見交換が行われた。

マーク について、その視認性を更に高めるため、例えば、外側の黒色の線にそのカーブに沿って白色の切り込みを4カ所に入れてはどうか。(試みにマーク の外側の黒色の線に白色の切り込みを入れたものを作成。)

こうして見ると、黒色の線は、このデザインの視認性を確保する上で必要不可欠であるが、白色の切り込みが少し入っただけで、もとのデザインよりも立体感が出てきたと思う。

私も切り込みを入れた方が視認性の観点から良いと思う。ただし、デザイン作成者の意向も確認すべきである。

切り込みが入ったことで、黒色の線で囲われていることによる閉塞感が和らいだように感じる。

以上の意見交換を踏まえ、マーク のクローバーの形に立体感を出して更に視認性を高めるとともに、黒色の線で囲まれることによる閉塞感が和らげるため、事務局においてデザイン作成者の意向を確認した上で、外側の黒色の線にそのカーブに沿った形で白色の切り込みを4カ所入れるよう修正することとされた。

(3) 高齢運転者標識のコンセプトについて

前回の検討委員会における指摘を踏まえ、コンセプトの再構築に当たっての留意すべき点について、主として以下のような意見交換が行われた。

コンセプトを再構築する上で、パブコメで寄せられた好意的な意見も参考にしたらよいと思う。

色に関して、黄緑と緑は若さを表し、黄色とオレンジ色は経験を表し、両方を併せ持ったデザインであるといった説明もできると思う。

「躍動感」などのキーワードを入れると良いのではないか。

以上の意見交換を踏まえ、高齢運転者標識のコンセプトについては、事務局においてデザイン作成者と調整を行った上でとりまとめることとされた。